

2020年10月7日

久米 正幸

## 令和2年度 第3回都公連役員会 速報

- ・開催日時 令和2年10月6日(火) 午後2時より4時迄  
場所 東大和市南街公民館工作室  
出席者 佐伯会長(東大和市中心公民館館長)、塩田研究大会事務局長(町田市)、  
増本職員部会(国分寺市)、小笠原研修担当(西東京市)、富田研修担当(東大和  
市)、伊東顧問(元福生公民館)、岩松顧問(明治大学)、久米委員部会長  
欠席者 吉村副会長(昭島市)、高下職員部副会長(国立市)、須崎委員部会副会長  
・はじめに 佐伯会長挨拶、

### ・報告事項

- 1、全国公民館連合会より令和2年度公民館事業推進支援金 20万円を頂いた。  
(全国公民館連合会会費について176,000円 納入したのでその差額分はどこから出ているのかと問い合わせたところ、全公連からだ、保険会社から出ているとのことでした。)
- 2、第60回関東甲信越静公民館研究大会千葉大会について(11月19日以降 you tube で視聴可)  
集合形式は中止だが、ユーチューブ、DVDによる資料発表となる。  
東京都の事例発表は 分科会「地域防災と公民館」で伊東顧問中心に進めている。  
現在 降旗真一先生(東京農工大)に助言を依頼中です。  
次回第61回関東甲信越静大会は 山梨県となる。

### 3、各部報告

館長部会 研修会が令和2年11月13日昭島市公民館で開催予定。

委員部会 別紙

職員部会 ・職員部会研修会は中止し 町田市でのマニヤミンとマナブウのオンライン学習や  
you tube 発信の現状を10月に見学する。

・社会教育実習生の受入れを国分寺市で始めたので、職員部会でも情報共有して  
人材育成や、社会教育施設として協力していく。

・文科省支援事業の くぬぎカレッジ 障害を理解するための講座

11/7 13時～15時 本多公民館で開催 講師 磯野茂氏(申し込み10/29迄)

研修担当 ・新任職員研修を10月以降に予定 現時点応募27名(10市、1区から)西東京市  
の各公民館で行う予定。中堅の職員研修は1月に国分寺市本多公民館で行う。

・学芸大学と都公連の共同研修は 初回は メールでそれ以降は オンラインで実験  
的に実施したが、顔の見える意思疎通がいまいちであった。立川市の職員3人が  
リモートでは立川市でできなく、小平市や東大和市・国立市の職員と一緒にいった。

第57回研究大会報告(企画委員会)

・9/2 第3回企画委員会で 大会趣旨、メインテーマについて確認した。基調講演を  
長澤先生にお願いした。第4回企画委員会(10/14)に向け参加負担金を各市9000  
円、基調講演はユーチューブ発信と動画をDVDで各市に配る。  
課題別集会は 資料発表だけにすることを提案する予定です。

### ・協議事項

1、非加盟市へ加入促進文書の送付について (佐伯会長)

令和3年度予算案に沿って発行する(2万円の負担金があるため)

加盟促進への討議 ・都公連加盟のメリット・デメリットを明確にする。・研修会の負担金を  
差別したら、・ネットワークで情報共有のメリットを挙げる。脱退した市の原因を探る。

・関ブロや都公連開催の負担が大きく辞めた市もあるので、その際1市でなく2、3の  
市共同でやるようにして、開催市の負担を軽くする。案等 議論された。

2、その他

①令和2年度永年勤続表彰について 全公連より福生市井上氏の表彰状が届いた。

②10月2日付で全公連会長からコロナ禍での公民館利用条件が緩和されたガイドラインが  
発信された。(資料あり)

③このコロナ禍での公民館のあり方をいろいろと自由討議をした。

今コロナ禍でいろいろ問題発生しているが、そのことを記録に残していくことが大事である。

次回 第4回役員会は 11月10日(火) 東大和市中心公民館にて 14時～

以上